



第3回福祉・たすけあい事業部会を開催しました。

2月13日（月）に Zoom を活用したオンライン会議として 2022 年度第 3 回福祉・たすけあい事業部会を開催し、合わせて 10 名が参加しました。

昨年 11 月の視察研修の振り返りをおこないました。（視察先：コワーキングスペースチガラボ・港南台タウンカフェ） 参加者からは以下のような感想、意見がありました。

○コワーキングスペースチガラボは、MY 本棚に名刺や自分の興味のあるもの置いたり TAKURAMI など、面白い取り組みがいろいろとあった。働き方、暮らし方はオーナーシップをもつこと（自分主体）でよい環境が生まれ、自分のスタイルが見えるという言葉が印象的だった。居心地の良い場所で、つながりを大切にし、そこから新しい発想が生まれていることが素晴らしい。仕掛けや仕組みが、個人の夢や思いを実現できるようになっている。

○港南台タウンカフェは、商店街、NPO、株式会社、の 3 団体が運営し関わる人も中学生から高齢者までと幅がひろい。小箱ショップは、カフェに入りやすい雰囲気づくりや、オーナーどうしの繋がりなど、全体を通して地域との強い結びつきを感じた。

○双方とも継続して活動ができるための事業と居場所を求める人の活動をバランスよく行っている。生協としては同じようには取り組めないが、個人のやりたいことを尊重するなど今後の居場所づくりのポイント参考になることが多かった。今後の社会ではとても大事。居場所は運営する側が主体ではなく、参加する人のしたい事を実現する手助けとなる場所ということがよくわかった。人々の想いやつながりをどう作り上げていくのかを課題としていきたい。

2. 2023 年度の活動について

今年度をもって、福祉・たすけあい事業部会の活動を終了する旨を千葉県生協連の上山専務より説明がありました。 今後は千葉県生協連内の地域・まちづくり委員会の中で福祉関係の学習会を開催していくこととします。



参加者のみなさん

以上